

事 務 連 絡
令和 5 年 8 月 7 日

各地方農政局農地整備課長 殿
北海道農政部農村振興局農村設計課活性化担当課長 殿
内閣府沖縄総合事務局農村振興課長 殿

農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室長

多面的機能支払に係る共同活動時の熱中症予防について

多面的機能支払の活動組織が実施する活動については、作業時における事故の防止及び第三者への安全確保に努めるよう、活動組織に対する安全管理の徹底について周知をお願いしているところである。

しかしながら、7月以降、記録的な暑さが続いていることもあり、熱中症による体調不良者の報告が増加しており、中には重篤な状態となるケースも生じている。

こうしたことを踏まえ、活動組織における熱中症対策を改めて徹底する必要があるため、管内の都府県、市町村を通じ、活動組織に対して、別添「熱中症対策パンフレット」を配布するとともに、下記の留意事項について周知徹底を図られたい。

記

- 1 熱中症警戒アラート（以下「アラート」という。）など気象情報を十分確認して、アラート発表時（アラートは MAFF アプリで確認可能）などの高温下での作業は避け、作業の中止、延期を検討すること。特に高齢者は暑さを感じにくくなるともに、重篤な事態を招きやすいので、細心の注意を払うこと。
- 2 テント設置等により日陰を確保し、こまめな休憩と水分・塩分補給を心がけること。
- 3 作業は複数名で行うこととし、単独作業は避けること。作業後の休憩中に気分が悪くなることも多いので、作業終了後もしばらくは体調を確認しあうこと。
- 4 帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、扇風機など熱中症対策アイテムを積極的に活用すること。また、活動組織では応急処置に対応できるよう、経口補水液や冷却グッズなどの救急セットを準備すること。
- 5 熱中症（手足のしびれ・めまい・吐き気・頭痛、汗をかかない、まっすぐ歩けないなど）が疑われる症状がみられた場合は、すぐに作業を中断して涼しい場所へ避難し、衣服を緩めるとともに、首筋や脇の下・足の付け根を冷やす応急処置を行うこと。
応急処置で症状が改善しない場合、すぐに医療機関での診察を受けること。
- 6 万が一、熱中症により治療が必要となる場合に備え、組織の活動スケジュールに応じて熱中症が補償対象となる保険への加入を検討すること。

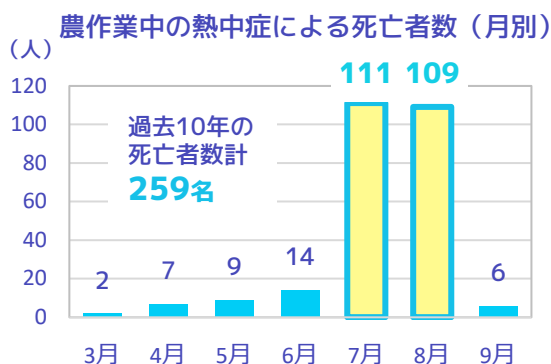
農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により**死亡**
- 死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!



熱中症対策

* 熱中症対策アイテム *

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、
ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際
のリスクを回避したいときに
活躍



ウェアラブル端末、
応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩
の質を高めたいときに活躍



ミストファン

* 熱中症警戒アラートと MAFFアプリの連携 *

熱中症警戒アラートとは?

熱中症の危険性が極めて高くなると予測
された際に発表される注意喚起情報

STEP 1

MAFFアプリの入手



Android



iOS

STEP 2

地域の設定



マイページ
>プロフィール設定

STEP 3

PUSH通知ON



スマートフォン側の
通知設定も確認

STEP 4

通知が届く



登録した都道府県に
アラートが発生され
ると通知が届く

* 熱中症が疑われる場合には *

01 作業を中断



(代表的な症状)

- ・ 汗をかかない、体が熱い
- ・ めまい、吐き気、頭痛
- ・ 倦怠感、判断力低下

02 応急処置



- ・ 涼しい環境へ避難
- ・ 衣服をゆるめ体を冷やす
- ・ 水分・塩分を補給

03 病院へ



応急処置をしても症状が改善
しない場合は医療機関で診療
を受けましょう!!